

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
 (事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 26 年 9 月 9 日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>		
岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト		
<b>GHG 検証機関</b>		
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。		
機関名	株式会社JACO CDM	
担当部署名	審査部	
責任者名	部長 萬里小路 明秀	
責任者 E-mail	madenokouji@jaco.co.jp	
責任者電話番号	03-5572-1753	
審査員名 <sup>i</sup>	審査チームリーダ: 湯口 峻宏 審査チームメンバ: 高野 幸雄 内部レビューア: 萬里小路 明秀	
機関要件への合致	検証機関として登録されている。	
<b>検証結果</b>		
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.2	
事業者との契約日	平成26年8月4日	
モニタリング報告書受領日 <sup>ii</sup>	平成26年8月5日	
検証報告書発行日	平成26年9月9日	
現地審査	期間	平成26年8月21日～平成26年8月22日



		<p>J-VER制度並びにJ-クレジット制度の諸規則(実施規則、モニタリングガイドライン等)に基づいた適正な報告がなされているかについて、以下に関する書類審査及び現地審査による検証審査を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本プロジェクトの実施がプロジェクト計画書並びに方法論No. R001 Ver.6.3に規定する適格性基準を満たしているか。</li> <li>2. モニタリング計画書に定められた方法・手段に基づいてモニタリングが実施されているか。</li> <li>3. CO<sub>2</sub>吸収量の計算がモニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)Ver.4.3等に沿って適切に行われているか。</li> <li>4. 実施体制、教育訓練、内部監査、計測器管理等を含むQA/QCの実施状況の確認。</li> <li>5. 不確かさ及び誤りの評価確認。</li> <li>6. 関連する許認可及び関連法令等の順守状況及びその他のリスクに関する状況。</li> </ol>				
排出削減・ 吸収量	年度	2013	2014	2015	—	—
	t-CO <sub>2</sub>	748	—	—	—	—
検証結果の要約		<p>株式会社JACO CDMIは、本プロジェクトの対象となった岩手県の森林を対象に、モニタリング期間(2013年4月1日～2014年3月31日)における温室効果ガス吸収量増加量を検証した。</p> <p>検証の結果、オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく上記期間中の『岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト』に関する「モニタリング報告書 Ver.1.2」は、J-VERモニタリング方法ガイドラインVer.4.3に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス吸収量増加量748 t-CO<sub>2</sub>は、事務局に提出された最新のプロジェクト計画書Ver.1.4及び同別紙モニタリング計画書Ver.1.3に基づいて算定されており、その誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>となり、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインに規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

- i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。
- ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。